



CHARTERED SEPT. 11. 1953

# Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO YAMATE

YAMATE YMCA, 2-18-12, NISHIWASEDA, SHINJUKU-KU, TOKYO TEL. 03-3202-0321 FAX.03-3202-0329

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-18-12 山手YMCA内

2017



2016 - 17 会長主題

## 招かれた者としてふさわしく

あずさ部長	浅羽俊一郎 (東京山手)	「あずさ部は賜物の宝庫。もっと活かそうぜ！」
東日本区理事	利根川恵子 (川越)	「明日に向かって、今日動こう」
アジア地域会長	Tung Ming Hsiao (台湾)	“ Respect Y's Movement ” 「ワイズ運動を尊重しよう」
国際会長	Joan Wilson (カナダ)	“ Our Future Begins Today. ” 「私たちの未来は、今日より始まる」

会長 金本伸二郎 / 副会長 尾内昌吉 / 書記 増野 肇・飯野毅与志 / 会計 中村孝誠  
 直前会長 浅羽俊一郎 / ブリテン 功能文夫 / 担当主事 松本竹弘

### 2017年 3月 例会 (BF・メネットの月)

と き 3月21日(火) 18:30-20:30  
 と ころ 山手センター 101号室

受 付 飯島愛子さん、功能さん  
 司 会 上妻さん  
 開会点鐘 会 長  
 モットー・ワイズソング 一 同  
 聖句朗読・祈祷 尾内さん  
 ゲスト・ビジター紹介 会 長  
 <会 食> 一 同  
 ハッピーバースデー  
 楽しい歌 鈴木田祐子さん  
 卓話 「私に関わった福島」  
 山手センター館長 松本竹弘さん  
 山手Yの小窓から 松本さん  
 ニコニコ 一 同  
 報告・連絡事項 各担当  
 閉会点鐘 会 長

当番〔1班〕 功能、上妻、尾内、飯島 (愛)

◎ TOFを実施します。

### 3月 HAPPY BIRTHDAY

会費の納入は、会計(中村君)への納入または  
 下記銀行口座への振込みをお願いします。  
 三菱東京UFJ銀行 高田馬場駅前支店  
 普通 3548431 「東京山手ワイズメンズクラブ」

### ワイズメンズクラブ モットー

『 強い義務感をもとう  
 義務はすべての権利に伴う 』  
 “ To acknowledge the duty  
 that accompanies every right ”

### 今月の聖句

主は人の一步一步を定め  
 御旨にかなう道を備えてくださる。  
 人は倒れても、打ち捨てられるのではない。  
 主がその手をとらえていてくださる。

詩篇 37:23, 24

### 2月報告

会員在籍数		16名
例会出席者	メ ン	11名
	メネット	一名
ゲスト・ビジター		5名
会員出席率		69%
ニコニコ	一 円 (累計 45,655 円)	
BF 国内切手	1,650g	外国切手 50g



## 2月 山手学舎訪問例会 報告

2月21日(火) 18:30-20:30

山手学舎集会室

参加者：上妻、浅羽、飯島、飯島(愛)、尾内、  
尾内(規)、金本、功能、鈴木田、松本  
10名

学舎舎生：

池田浩太郎君、木下 駿君、舟山慶彦君、  
村山寛悟君(卒業・就職) 4名

ゲスト・ビジター

久保田貞視さん(国際・交流事業主任、八王子)  
合計 15名

2月例会は昨年に続いて山手学舎の集会室で開催した。山手センターの南端にある学舎専用階段で5階に上がる。学舎の入口を入ると舎生の履物が狭い玄関で賑やかに迎えてくれる。スリッパに履き替えてすぐ右側の集会室に入る。

プログラムの前半、会食までの司会は浅羽さんが受け持ち、後半は舎生会の会長を務める池田君が司会を務めてくれた。

当夜のメインテーマは山手学舎の諸君が2016年度に行った宮城県石巻、女川での東日本大震災復興支援活動の報告で、現地で撮った写真をテレビの画面に映し出しながら説明してくれた。

まず、木下君から、3月に舎生6名が参加して行った石巻でのカキ養殖の手伝いの報告があった。カキの網の引き揚げ、ブイの洗浄作業(貝殻や海

草を落とす)を行ったそうである。

次に池田君から、石巻の隣町女川で夏に実施した学童支援(3日間)の報告があった。放射能のことを考えて子供たちの遊びは室内中心になっており、学力低下も心配されている。そこで、まず勉強を30分行い、その後は遊びやゲームを行ったが、子供たちの笑顔が復興を物語っていたという報告であった。

女川の復興について、木下君からも海辺に商店街が出来、人口流出が止まったという報告があった。

その後、三つのテーブルごとに自己紹介や話合いが行われ、最後に、この春めでたく卒業、就職する村山君にお祝いとして名前入りボールペンを山手クラブから贈呈し、久保田さんからもスマイルズの有名な「自助論」の翻訳書が贈呈された。

新年度も新しい舎生の入舎が予定されており、学舎の更なる発展が期待される。(F・K)



卒業・就職おめでとう！

## 次期山手クラブ会長は上妻英夫さんに決定

2月例会の中で、金本会長から次期会長は上妻さんが引き受けてくださったことの発表があり、上妻さんから会長受諾の挨拶がありました。上妻さんどうぞよろしくお願ひします。

## YMCAニュース

### 2月ヨルダン会 報告

日時：3月1日(水) 19:00~20:30  
出席：上妻、尾内、金本、中村、松本 5名  
議題

#### 1、3月例会

卓話者：松本主事「私に関わった福島」

#### 2、4月例会

卓話者：金子磨矢子さん(NECOO カップエ主催者)

「発達障害施設と地域の関わり」

#### 3、次期クラブ役員に就いて上妻英夫次期会長から、下記提案が示され承認した。

会長	上妻英夫
副会長	尾内昌吉
直前会長	金本伸二郎
書記	浅羽俊一郎
会計	中村孝誠
EMC	鈴木田通夫
B F	青鹿博明
C S	増野 肇
Yサービス	飯島愛子
IBC・DBC	尾内規子
音楽	鈴木田祐子
YEEP・STEP	飯野毅与志
ドライバー	飯島隆輔
国際交流	浅羽俊一郎
ブリテン	功能文夫

#### 4、高田馬場駅前街頭募金 3月11日(土)

11:00~15:00に実施。松本館長から山手ワイズにも協力の要請があった。

#### 5、松本館長から山手学舎関係の情報提供があった。

- ① 4月以降の在舎生は14名になる見込み。
- ② 舎生から3/17~3/20の間「女川の祭り」のボランティア活動の提案があり、費用、宿泊先等検討中。さらに今後女川との関わりでバザー時に学舎として物産展もやりたいとの考えも出てきた。(中村)

#### ▼高田馬場駅前 街頭募金活動のご案内

東日本大震災から6年、熊本地震から10カ月が経とうとしています。まだ、元の生活に戻れない人たちが大勢います。少しでも私たちが被災された人に寄り添い、支援に携わっていければと願って、以下の通り街頭支援募金活動を実施します。

【とき】3月11日(土) 11:00~15:00

5分でもOKです。ご協力をお願いします。

【場所】高田馬場駅前

【問合せ】東京YMCA山手センター

TEL:03-3202-0321

#### ▼第701回東京YMCA午餐会

「新しい一歩を創る ~リオ・オリンピック水泳金メダリストを育てた下町企業の挑戦」

「介護」という言葉を発明し、商品開発は文化開発であることを実証してきたフットマーク社の哲学と、リオ・オリンピック金メダリストを輩出した同社の挑戦秘話をお聞かせします。

【卓話者】磯部成文氏

(フットマーク株式会社 代表取締役会長)

【日時】3月21日(火) 12:00~13:30

【場所】東大YMCA(南北線東大前駅0分)

【参加費】¥3,000(食事不要の場合は¥1,500)

【問合せ】東京YMCA賛助会事務局

TEL:03-3615-5562 (3/16まで)

#### ▼発達障がい児・者支援講演会報告

2月26日(日)山手センターにて発達障がい児・者支援講演会を開催しました。早稲田大学教授の梅永雄二氏をお招きし、「年齢に応じた対人関係の困り感への支援とその実際」をテーマに話して頂きました。参加者は定員を超え、80名の方が来館されました。保護者や教師、当事者、支援者など様々な立場の方が参加され熱心に聞いていました。講演後は、山手センターで行っているソーシャルスキルトレーニングの事例紹介、また発達障がいのある大学生を対象に大学での適応を順調にし、就職に必要な力をつけるプログラム「START-Y」の紹介を行いました。また、希望者による個別相談会も設け多くの参加がありました。

(松本竹弘)





## 第2回あずさ部 安兵衛 評議会

増野 肇

浅羽メンが部長になって2回目の評議会が、2月11日(土)に山手センターで開催された。ホストは東京サンライズクラブである。私は歩行障害があり、夜間の外出が難しくなり、しばらく例会を欠席していたが、今回の評議会は昼間なので参加して報告も書くことになった。

あずさ部11クラブから59名が参加、山手からは浅羽、飯島、尾内、尾内(規)、金本、功能、中村、増野の8名が参加した。浅羽部長の開会点鐘、尾内部会計の祈祷があって、ホストの東京サンライズ御園生会長が歓迎の挨拶をされた。「安兵衛」評議会としたのは居酒屋が多いからではなく、2月11日は高田馬場の果し合いに赤穂浪士・堀部安兵衛が助太刀した日(元禄7年2月11日)であるのにちなんで命名したのだとのことだった。

部の運営について事前にアンケートを実施して、その結果を全員に配るなどをして浅羽部長も張り切って内容のある評議会にしようとしており、それがかなり実現した会議となった。次期部長が東京西の大野貞次メン、次次期部長が甲府21の広瀬健メンと順調に決まったものの、次期の会長が決まらないところが3クラブあり、決まったところの半分が女性の会長というところが印象的だった。会員増強事業主査 甲府の秋山メンが提出した「3人寄れば1人の知人」がいるから、その人にアプローチしようという提案が面白かった。

後半の懇話会は、7グループに分かれて、今後の在り方について話し合われた。なるだけ全員がこの問題について関与して盛り上げようという部長の意図は達せられた感じがした。どこでも高齢化と会員のなり手が少ないという共通の課題があるようだったが、私が参加したEグループでは、半数以上が女性でいろいろな意見が出た。富士五湖では8時に集まって10時までやるという時間帯がよいとか、甲府21では、若い人には会費を安くして援助していることもあって会員が増えているとか、前回の評議会でウォーキングホリデイの実績を紹介した東京西では、地域の参加者は増えても、YMCAの理念を伝えるのが難しいといった報告を聞くことができた。いずれにせよ、このような形式でほかのクラブの人と話し合う場が今後の相互の交流に役立っている感じがした。

他に用があって参加できなかったが、この時間帯なら2次会も負担なく参加できるだろう。そこ

から多くの交流が生まれたと思われる。最後に、浅羽部長得意の作曲であずさ部の部歌が紹介されたが、なかなかいい感じの歌で、全員で歌うこともできたし、会議の良い幕切れとなった。



開会式



懇話会

.....

### おたより

<上妻英夫さん> 「豆まきや来期も福が来るように」 来期を豆に託して大声で蒔いた。これが通じてくれれば幸いである。

<浅羽俊一郎さん> 第2回東西交流会を東山荘の新本館で楽しむことができました。東西だけでなく、老若の交流もたくさん目撃しました。思うに、今のワイズは先達の悲しみ、喜び、失敗と成功の上に築かれています。であれば当然これからのワイズは今の私たちの体験、知見の上に築かれるはず。あずさ部各クラブで迷いつつも頑張っているメンと出逢い、大いに励まされています。

<鈴木田祐子さん> 2月例会 楽しい歌の時間、舎生の心の発表の時間にお使いいただければ嬉しいです。

## 第2回東西日本区交流会に参加して

尾内昌吉

1997年7月1日に東西日本区に別れてより20年、12年ぶりに第2回東西日本区交流会が2月4日～5日新装なった東山荘で、東日本区188名、西日本区171名、台湾区11名、計370名のワイズ・メネットが集まり開催された。

山手クラブからは浅羽、尾内、尾内（規）の3名と前目黒クラブメネット福島（多）さん福島（宣）さんが参加した。

① 第1部の開会式・講演では利根川理事の開会点鐘に始まりワイズソング、祈祷、開会のことばと続き島田同盟総主事からは東山荘100年募金の献金に対する感謝が述べられた。また利根川理事からは「語ろう！未来につなぐワイズスピリットを！」と呼び掛けられ如何に実現するかをみんなで考えようと力強く語られた。

講演では同盟理事の中道氏より「YMCAのブランディングとワイズ」と題して「THE・YMCA」2016年9月号をもとに有意義なお話をされた。

② 第2部の交流プログラムではLT/LDほか9プログラムに別れてのプログラムが用意されたが、山手の3人とも「音楽」の部門に参加した。浅羽さんはピアノで盛り上げ、ギター、トランペット、マリアハープ等の演奏、独唱など「才能あり」の出来栄であった。キャンプソングを歌ったが「ズンゴロ節」も大いに盛り上がった。

③ 第3部の夕食懇談会では場所を体育館に移し用意された食事を戴きながら東西の交流を深めた。三牧さん、田尻さんともお会いしたし多くの西日本区の方々からは「山手の奈良さん」はいまどうされているかと聞かれたが、愚妻が奈良さんと同じリハビリセンターに通っている事もふくめ元気で過ごされている旨お伝えした。

またお楽しみプログラムでは東西ワイズ対抗戦の音楽、ダンス等があり最後に抽選会で楽しんだ。また第4部ではフェロウシップアワーがもたれた。

④ 翌日の第5部は講演、報告、DBC/IBC締結式があり、講演では山田公平氏より「ワイズとYMCA・今後への期待」と題してのお話があった。IBC締結式では台湾より参加された「台北A-List」と大阪泉北クラブとが目出度くIBCを組んだ。

⑤ 最後に6月に行われる各日本区大会のスピー

ルがあり閉会となった。

昼食後東西日本区交流の熱き想いを胸に東山荘を後にした。

⑥ 東西日本区交流会を企画運営された田中さんはじめ多くのワイズの方々に感謝致します。



利根川理事、田尻さんと一緒に



交流プログラムで

.....

### 哀悼

竹内敏朗さん（熱海グローリークラブ・NPO 法人 熱海 YMCA 理事長、91 歳）

2月24日早朝、逝去されました。謹んで哀悼申し上げます。葬儀は2月27日（月）に家族葬で執り行われました。山手クラブ一同として弔電をお送りいたしました。YMCA、ワイズ関係については後日お別れ会が企画されるとのことです。

竹内さんは、1979/80年 第25代日本区理事、1984/85年 第59代国際会長を務められました。1987年には永年にわたりワイズ運動に尽くした功績によってワイズ最高の榮譽あるボランティア賞を受賞されました。